# GaAs<sub>x</sub>Sb<sub>1-x</sub>/GaAs 量子ドットのキャリア寿命の As 組成依存性

As composition dependence of carrier lifetime in GaAs<sub>x</sub>Sb<sub>1-x</sub>/GaAs quantum dots

### 1 東大院工,2 東大先端研,3 産総研

## **<sup>O</sup>樗木 悠亮**<sup>1,2,3</sup>, 庄司 靖<sup>3</sup>, 宮下 直也<sup>2</sup>, 岡田 至祟<sup>1,2</sup>

## 1 School of Engineering, Univ. of Tokyo, 2 RCAST, Univ. of Tokyo, 3 AIST

#### <sup>o</sup>Yusuke Oteki<sup>1,2,3</sup>, Yasushi Shoji<sup>3</sup>, Naoya Miyashita<sup>2</sup>, Yoshitaka Okada<sup>1,2</sup>

#### E-mail: oteki@mbe.rcast.u-tokyo.ac.jp

【はじめに】量子ドット太陽電池は量子準位を介した2段階光吸収過程による電流密度の増大により、変換効率の向上が期待される。2段階光吸収レートを改善するために、キャリア寿命が長いType-II型 GaSb 量子ナノ構造を用いることが有効であると考えられる[1]。我々は太陽光と量子準位のスペクトルマッチングをとるため GaAs<sub>x</sub>Sb<sub>1-x</sub>/GaAs 量子ドット(QDs)を検討している。今回、GaAs<sub>x</sub>Sb<sub>1-x</sub>/GaAs QDs の As 組成の変化に対するキャリア寿命の変化について調べた。

【実験および結果】試料は分子線エピタキシーを用いて GaAs(001)基板上に成長した。まず 200 nm 厚の格子緩和 GaAs<sub>x</sub>Sb<sub>1-x</sub> 薄膜を作製した。Sb flux は 8×10<sup>6</sup> Pa で固定し、As flux を 0, 1, 3, 4.5, 6× 10<sup>4</sup> Pa と変化させた。高分解 X 線回折により As 組成は 6%, 11%, 21%, 30%, 38%と見積もられた。

次に同 As/Sb flux 条件を用いて単層 QDs を成長し、150 nm 厚の GaAs で埋込んだ。5K における 各 GaAsSb QDs からの発光の時間分解スペクトルを測定し、2 成分( $\tau_1, \tau_2$ )の指数関数モデルを用い てフィッティングを行った。Fig.1 に示すようにキャリア寿

命τ<sub>1</sub>, τ<sub>2</sub>は As 組成 20%程度の試料で最大となった。

Fig.1の組成変化の要因を調べるため、nextnanoを用いて 電子と正孔の波動関数の重なりからキャリア寿命の As 組 成依存性を計算した結果[2][3]、QD 近傍の光キャリアの蓄 積がない(キャリア密度 0 cm<sup>-3</sup>)ときは Fig.2 の青線のように キャリア寿命は As 組成が大きくなるにつれて減少した。 一方、光照射によるキャリアの蓄積を考慮してキャリア密 度 1×10<sup>25</sup> cm<sup>-3</sup> を与えるとキャリア寿命は As 組成 17%前 後で最大となり、実験結果と同様の傾向が得られた。

Type-II 型のバンド構造では、光照射により励起した 電子が QDs 近傍に局在化すると考えられている[3]。As 組成が大きくなると伝導帯オフセットが減少し、QDs 近 傍に局在する電子の波動関数分布が小さくなることで キャリア寿命が増大したと考えられる。

【謝辞】本研究は、国立研究開発法人 NEDO「壁面設置 太陽光発電システム技術開発」の委託の下で行われた。

- [1] Y. Shoji et al., AIP Advances 7 (2017) 065305.
- [2] C. W. Lee and A. J. Peter, Phys. Scr. 85 (2012) 015704.
- [3] nextnano<sup>3</sup> semiconductor software solutions, https:// www.nextnano.de/index.php (2021).
- [4] M. Jo et al., Nanoscale Res. Lett. 7, 654 (2012).



Fig.1. As composition dependence of carrier lifetime obtained in experiments.



Fig.2. As composition dependence of carrier lifetime calculated with carrier density 0 cm<sup>-3</sup> (blue) and  $1 \times 10^{25}$  cm<sup>-3</sup> (red) of QDs with a 4 nm-height, 10 nm-diameter, and 0.3 nm-wetting layer thickness. Insets show band diagrams of QDs with 20% As composition.